

常磐短期大学
成績評価基準・評価指標（ルーブリック）作成の手引き

成績評価基準・評価指標、いわゆる「ルーブリック rubric」は、学修目標の達成度を判断するため、「評価項目（観点）」と、各評価項目の到達レベルを数段階に分けて文章で示した「評価基準」から構成される評価ツールです。

作成方法

ルーブリック作成にあたっては、「成績評価基準・評価指標（ルーブリック）作成の手引き」を参照しながら、「常磐短期大学 授業別成績評価基準・評価指標（ルーブリック）」の所定の様式を使用してください。以下の項目を記載していただきます。

1. 科目名

ご自身の担当する科目名を記入してください。

2. 評価項目

シラバスに記載している「学修の到達目標」に準拠した評価項目を抽出して記入してください。

3. 評価基準（S～D）

評価項目ごとに各評価基準（S・A・B・C・Dの5段階）の文章を作成してください。「習熟目標：授業内容の習熟を達成している（A）」と「到達目標：到達目標を達成している（C）」の評価基準を先に設定しておくことで作成しやすくなります。詳しくは手引きを参照してください。

4. 評価手段

「試験」「レポート」「小テスト」など、それぞれの評価項目に対応する評価手段を記入してください。1つの評価項目につき複数の評価手段がある場合、あるいは複数の評価項目で共通の評価手段を用いる場合には、適宜、セルを分割／結合してください。

提出方法

2024年度の授業科目における「成績評価基準・評価指標（ルーブリック）」をGoogleスプレッドシートにて共有しますので、修正がある場合は朱字にてお示しください。また、項目の追加がある場合は、行を追加のうえ、朱字にてお示しください。削除する場合は、行を削除せずに「取り消し線」にてお示しください。

【GoogleスプレッドシートURL】

https://docs.google.com/spreadsheets/d/1H0QNxcX13SO79U2_in2lRwQapTKAaP-q0DIR0_JRqO4/

提出期限

2025年1月30日（木）

**成績評価基準・評価指標
(ルーブリック)
作成の手引き**

第2版(2024年11月)

常磐短期大学

1. ルーブリックとは

「ルーブリック rubric」は、学修目標の達成度を判断するため、「評価項目(観点)」と、各評価項目の到達レベルを数段階に分けて文章で示した「評価基準」から構成される評価ツールです。

2. ルーブリックの種類と活用

ルーブリックにはいくつかの種類があります。

(1) 課題ルーブリック

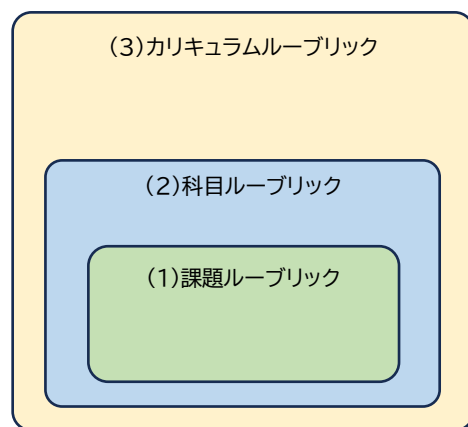
「課題ルーブリック」は、授業内で課題として提示したレポートや、授業の中で実施するプレゼンテーションなどのパフォーマンスを評価する際に使用します。

(2) 科目ルーブリック

「科目ルーブリック」は、各科目の「学修の到達目標」を評価項目(観点)とし、評価グレードを「S・A・B・C・D」の5段階に設定することで、最終的な成績評価の根拠として用いることが可能です。最終レポートなどを対象に、各科目の「学修の到達目標」に到達しているかどうかを総括的に評価することが想定されます。

(3) カリキュラムルーブリック

「カリキュラムルーブリック」は、評価項目(観点)にディプロマ・ポリシーに定める学修成果を記載します。卒業論文やキャップストーンとして位置づけられるような科目において、学生が学修成果を獲得しているかどうかを把握することなどが考えられます。



3. 科目ルーブリック導入の目的

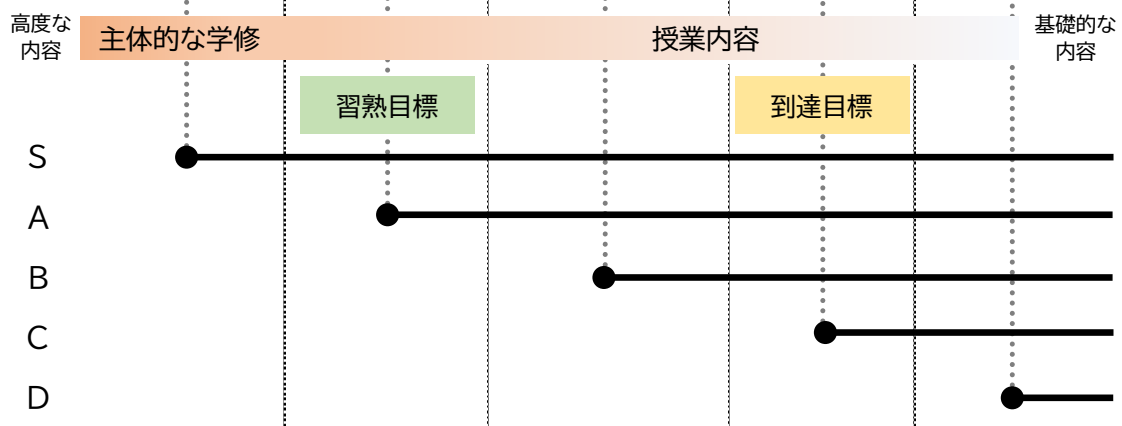
科目ルーブリックを作成することによって、各科目の求める学修目標や方向性を具体的に示すことができ、学生の学修意欲の向上が期待されます。また、複数教員で開講しているオムニバス科目等においては、一定の評価項目と規準に基づいた評価を行うことを可能とし、評価の質を高めるねらいがあります。

4. 「学修の到達目標」

常磐短期大学では、5段階の成績評価グレード(評定:S・A・B・C・D)を用いています。それぞれのグレードは点数(評点)で表現されていますが、各科目における「習熟目標:授業内容の習熟を達成している(レベル)」と「到達目標:到達目標を達成している(レベル)」の関係を「成績評価基準表」で表しています。この2つの基準を設定しておくことで、科目ルーブリックが作成しやすくなります。

成績評価基準表

評定	S	A	B	C	D
評点	100~90点	89~80点	79~70点	69~60点	59~0点
GP	4	3	2	1	0
評価基準	授業内容の習熟を超えたレベルに達成している	授業内容の習熟を達成している	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成できていない



習熟目標	授業内容の習熟を達成しているレベルを示す目標です。より高度な内容は自主的な学修で身に付けることを必要としています。
到達目標※	シラバスで示している「学修の到達目標」で、授業を履修した人が最低限身に付ける内容を示す目標です。さらなる学修を必要としている段階です。

※「到達目標」は、「最低限備わっている能力を保証するもの」(質保証、学修成果の保証)として「評定 C」に位置づけてください。一定の評価基準を設定することで評価の曖昧さの回避および評価の質向上を目的としています。(参考資料:『令和 2(2020)年度 短期大学認証評価自己点検・評価報告書』)

5. 科目ルーブリックの作成方法

5-1 「習熟目標」と「到達目標」から作成する手順

〈マニュアル〉 科目ルーブリックの作成 (I)

手順① シラバスの「学修の到達目標」から評価項目を抽出する

シラバスの「学修の到達目標」をそれぞれ「評価項目」として抽出し、ルーブリックの最左列の「評価項目」欄に記述します。評価項目は「学修の到達目標」に準拠したものを設定します。

手順② 「習熟目標」に相当する内容を「授業内容の習熟を達成している(A)」欄に記載する

手順①で抽出した評価項目に対して、習熟目標の内容を短文で記載します。

手順③ 「到達目標」に相当する内容を「到達目標に達成している(C)」欄に記載する

手順①で抽出した評価項目に対して、到達目標の内容を短文で記載します。授業を履修した人が最低限身に付ける内容を示します。

手順④ すでに記載された評価基準を参考にして残りの「S」「B」「D」欄を埋める

「授業内容の習熟を超えたレベルに達成している(S)」の欄には学生の主体的な学びに関する基準を記載します。

手順⑤ 各評価項目に対応する評価手段を記載する

「試験」「レポート」「小テスト」など、各評価項目に対応する評価手段を記載します。1つの到達目標につき複数の評価手段がある場合、あるいは複数の到達目標で共通の評価手段を用いる場合には、適宜、セルを分割/結合してください。

評価項目	評価基準					評価手段
	授業内容の習熟を超えたレベルに達成している (S)	授業内容の習熟を達成している (A)	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している (B)	到達目標を達成している (C)	到達目標を達成できていない (D)	
評価項目1						
評価項目2		手順②		手順③		手順⑤
評価項目3						

手順①

手順④

5-2 コモン・ルーブリックから作成する手順

コモン・ルーブリックの中から科目の適性に合わせて評価項目を選択することも可能です。科目の内容に適したルーブリックをコピーし、文言を適宜修正することで科目ルーブリックを作成することができます。

〈マニュアル〉 科目ルーブリックの作成(Ⅱ)

手順① 科目の内容に近い評価項目をコモン・ルーブリックから探す

コモン・ルーブリックの中から科目の内容に近い評価項目を探します。評価項目は「学修の到達目標」に準拠したものを設定します。

手順② 該当する評価項目・評価基準をコピー＆ペーストする

コモン・ルーブリックの評価項目・評価基準をコピーして、科目ルーブリックに転記します。

手順③ 授業内容に合わせて評価項目・評価基準の文を修正する

「学修の到達目標」の記載内容から、評価項目・評価基準の文を適宜修正します。

手順④ 各評価項目に対応する評価手段を記載する

「試験」「レポート」「小テスト」など、各評価項目に対応する評価手段を記載します。1つの到達目標につき複数の評価手段がある場合、あるいは複数の到達目標で共通の評価手段を用いる場合には、適宜、セルを分割／結合してください。

手順①

評価項目をコモン・ルーブリックから探す



手順②

評価項目・評価基準をコピー＆ペーストする



手順③

評価項目・評価基準の文を修正する



手順④

各評価項目に対応する評価手段を記載する

常磐短期大学 成績評価基準・評価指標 コモン・ルーブリック

評定	S	A	B	C	D
評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点
GP	4	3	2	1	0

* 科目の「学修の到達目標」の内容に近い評価項目・評価基準をコピーして、科目ルーブリックに転記してください。文は適宜修正して構いません。

評価項目		評価基準				
		授業内容の習熟を超えたレベルに達成している (S)	授業内容の習熟を達成している (A)	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している (B)	到達目標を達成している (C)	到達目標を達成できていない (D)
知識・理解	理解度	授業内容を越えた学修が認められる	授業内容をほぼ理解している	到達目標は理解しているが、授業内容の理解に不足がある	到達目標に達していることが認められる	到達目標に達していない
	言語表現能力	課題について説得力をもって説明ができる	課題について聴き手の関心を引く説明ができる	課題について、曖昧な点を残さず説明できる	課題について曖昧な点はあるが、ほぼ説明できる	課題について聴き手に説明できない
汎用的能力	分析能力	資料・データを客観的に分析し、それを他人に平易に説明できる	資料・データを自力で分析し、自分の言葉で説明できる	他者の意見を参考にすれば、資料・データを分析し、説明できる	教員のアドバイスがあれば、資料・データを分析できる	教員のアドバイスがあっても資料・データを分析できない
	実践能力	授業内容を客観的に整理し、学修範囲を超えて再現できる	授業内容を整理し、ほぼ実践できる	授業内容を整理し、80%程度実践できる	到達目標に達していることが認められる	到達目標に達していない
	課題発見能力	授業内容を整理し、学修範囲を超えた独自の視点を示すことができる	授業内容を整理し、新しい視点を示すことができる	授業内容にもとづく視点を示すことができる	教員のアドバイスがあれば課題を意識できる	教員のアドバイスがあっても課題を意識できない
	課題解決能力	優れた方法を用いて課題を解決できる	適切な方法で課題をほぼ解決できる	参考例などを参照しながら課題を80%程度解決することができる	教員のアドバイスを参考にしながら課題を解決することができる	教員のアドバイスがあっても課題を解決できない
	調査・資料作成能力	課題の理解について参加者の思考を広げる多面的な資料を作成できる	課題の理解が深まるように構成された資料を作成できる	課題の理解を促す、読みやすい資料を作成できる	課題の理解に必要な最低限の情報を含む資料を作成できる	課題の理解につながる資料を作成できない
	文章作成能力	授業内容に関する思考を、説得力ある内容・表現で記述できる	授業内容に関する思考を、論理的な内容・表現で記述できる	授業内容に関する思考を、不足する点はあるが記述できる	授業内容に関する思考を、他者がほぼ理解できる程度には記述できる	授業内容に関する思考を、適切に記述できない
	協働性	授業内の活動で活動の目標に即したみずからの役割を十分に理解して果たすことができる	授業内の活動に、自分の役割を意識して参加することができる	授業内の活動に、他の受講生と協力して参加することができる	授業内の活動に参加はするが、みずから動くことはしない	授業内の活動へ進んで参加しない、また指示に従わない
態度・志向性	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献する	授業全体の流れを理解し、発問に対して積極的に応じる	発問に対して、指名されれば正しく応じることができる	授業に集中して理解しようとする態度が見られる	授業に集中できず、授業放棄の態度が見られる
	事前・事後学修	自ら進んで学修範囲を超えて調べている	学修範囲を十分に調べて、授業内容を他者に説明できる	学修範囲の理解に曖昧な点がある	指示された範囲の事前・事後学修はするが、理解が不十分である	指示された範囲の事前・事後学修が不十分である
	計画力	PDCAサイクルに従って学習を行い、より高度な改善が見られる	PDCAサイクルに従って学習を行い、過不足なく学習目標に達している	PDCAサイクルに従って学習を行っている	学習にあたって計画を行っている	学習にあたって計画を行わない
	人間関係構築能力	円滑な人間関係を形成し、協力して行動・作業をすることで個人の活動を越えた高度な成果を上げている	円滑な人間関係を形成し、協力して行動・作業ができている	一般的な人間関係が形成できている	人間関係形成の意思がみられる	人間関係形成への意思が不十分である

常磐短期大学 授業別成績評価基準・評価指標(ルーブリック)

科目名	ご自身の担当する科目名を記入してください					
評定	S	A	B	C	D	
評点	100~90点	89~80点	79~70点	69~60点	59~0点	
GP	4	3	2	1	0	
評価項目	評価基準					評価手段
	授業内容の習熟を超えたレベルに達成している(S)	授業内容の習熟を達成している(A)	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している(B)	到達目標を達成している(C)	到達目標を達成できていない(D)	
シラバスに記載している「学修の到達目標」から評価項目を抽出して記入してください	成績評価基準・評価指標(ルーブリック)を作成してください				試験・レポート・小テストなど評価手段を記入してください	
	「履修目標:授業内容の習熟を達成している(A)」と「到達目標:到達目標を達成している(C)」の評価基準を先に設定しておくことで作成しやすくなります 詳しくは手引きを参照してください					
				1つの「学修の到達目標」につき複数の評価手段がある場合には、適宜、セルを分割/結合してください		

常磐短期大学 授業別成績評価基準・評価指標(ルーブリック)

科目名						
評定	S	A	B	C	D	
評点	100~90点	89~80点	79~70点	69~60点	59~0点	
GP	4	3	2	1	0	
到達目標	評価基準					評価手段
	授業内容の習熟を超えたレベルに達成している (S)	授業内容の習熟を達成している (A)	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している (B)	到達目標を達成している (C)	到達目標を達成できていない (D)	